

事業種類	地すべり対策		事業名	地すべり対策			
市町村名	飯田市	ふりがな 箇所名	たていし 立石		工 期 (年度)	当 初	H10 ~ H19
当初事業費	220,000 千円		費 用 対 果 効 果	当初	5.6	実 績	H10 ~ H19
最終事業費	144,000 千円			評価時	8.6		
事業目的	風化破碎の進行した基岩とそれを覆う崩積土が降雨等による間隙水圧の上昇により地すべりを発生させている状態であったため、地すべり発生の誘因となる地下水を排除するために地下水排除工(横孔ボーリング工)および地表水排除工や不安定な斜面への土止工を実施する。						
事業等経過	当初計画内容	承排水路工 L=1,200m、横孔ボーリング工 L=1,100m、土止工 L=900m、えん堤工 N=3基					
	最終事業内容	承排水路工 L=1,175m、横孔ボーリング工 L=1,191m、土止工 L=245m					
	変更理由	事業採択後において、詳しく地すべりブロックの状況を調査し現地に即したより効果的な対策工事を選択した結果、対策工法や事業量を変更した。					
評 価 項 目							ランク
事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない) 地すべり対策工事の実施により大規模な地すべりや災害の発生は見られない。							B
事業実施に伴う自然環境の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい) 地すべり対策工事の周囲の自然環境への影響はほとんどみられない。景観も工事により損なわれることなく周囲の自然環境と調和している。							B
施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切にされている C:やや不十分 D:適切にされていない) 地すべり対策委員会が組織され、年次計画のもと定期的に維持管理されている。							A
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い) アンケート結果によると、工事の必要性や重要性について概ね8割の方から評価支持されている。							A
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要) 維持管理は適切に行われている。							B
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している —:特になし) 地すべり防止施設の点検・管理に地域住民が積極的に関わることで、地域への愛着や地域の一体性が強まっている。一方では、高齢化や過疎化の進行により地域の結びつきに変化が生じている。							A
部 意 見	保全対象地域での地すべり被害はなく、防災効果が発揮されている。			行政改革 課 意 見	地すべり活動は沈静化しており、一定の効果が認められる。		
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等 地すべり防止施設の維持管理は、地元飯田市や地域住民と十分連携し実施することが重要である。今後も関係者間の連携を密にして施設の機能を維持するとともに、周辺農地も含め地域全体の保全を図っていく。また、横孔ボーリング孔の洗浄や排水路の補修等は定期的実施する必要があることから、県単事業等を積極的に活用し取り組んでいくことが必要である。							

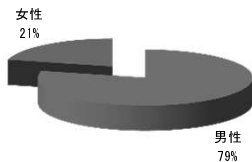
アンケートの方法及び対象

・飯田市三種の地すべり防止区域立石地区の住民78世帯および同一地域の50世帯(合計128世帯)に対し、アンケートを実施した。

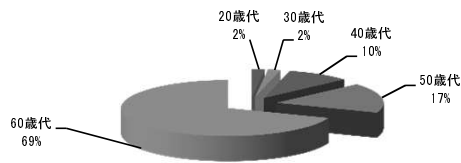
配布数	128
回収数	52
回収率	40.6%

アンケート結果

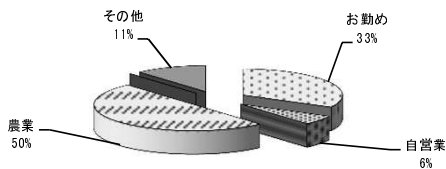
問1 性別



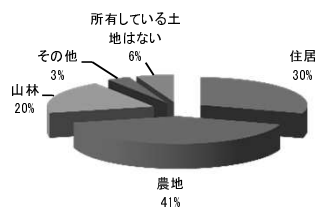
問2 年齢



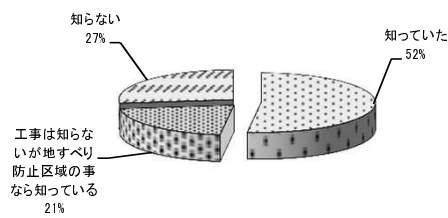
問3 職業



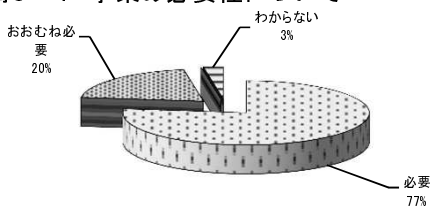
問4 土地の所在



問5 事業の認知度について



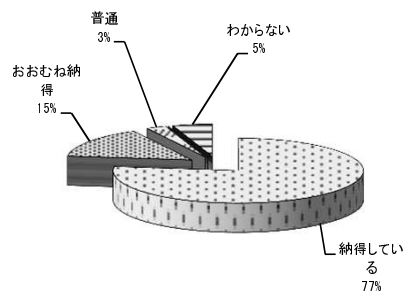
問6-1 事業の必要性について



問6-2 主な理由

- ・立石地区には危険箇所が多くあり、まだまだ防止工事は必要。
- ・対策することにより、災害等が少なくなる。
- ・地すべりの発生箇所が減少した。
- ・水路が整備され田畑が守られている。
- ・同じ地域に住む者として安全で安心して暮らせる場の整備は必要。
- ・大災害が発生しないように緻密な調査をお願いしたい。

問7-1 税金が使われていることについて

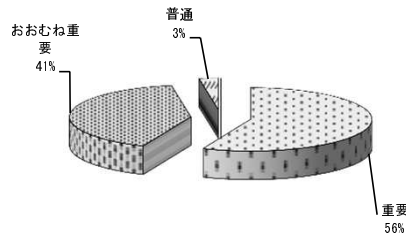


問7-2 主な理由

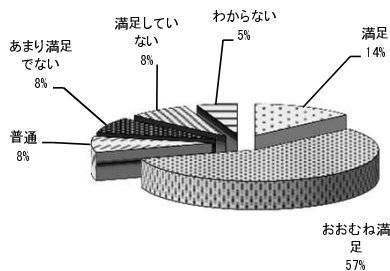
- ・国、県、市等の責務は、住民の安全安心を守ることである。
- ・地すべり対策事業は農地を守り、国土を守り、そして水源を守っている。
- ・国民の生命、財産を守るのは当然だと考える。

アンケート結果

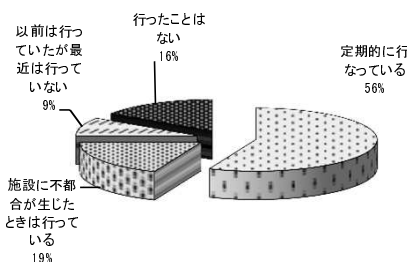
問8-1 地域社会にとっての重要性



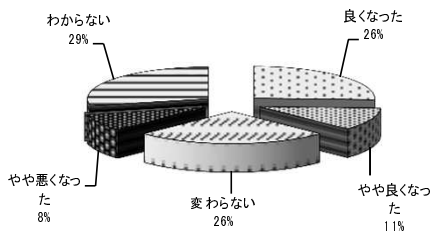
問9-1 完成を見て満足？



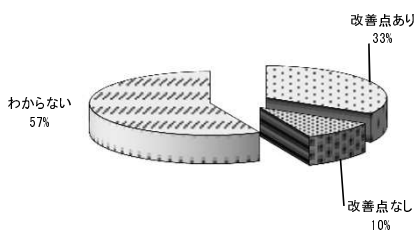
問10-1 施設の日常管理について



問11-1 自然環境の変化について



問12-1 改善点について



問13 その他意見・要望

- ・中山間地域は地すべり地域など条件不利地が多いが、そこで生きている人達、そこを守っている人達がいる。先人が苦労し守ってきた土地を将来に残す為にも今後ともご配慮いただけますようお願いしたい。
- ・今後も継続的に対策工事を行っていただきたい。また、地すべり地域内の地すべり状況を定期的に調査し公開してもらいたい。
- ・各組合、地すべり委員を通じ、要望を吸い上げて実施してもらいたい。

問8-2 主な理由

- ・地すべり防止工事により安心して生活できるようになった。
- ・この事業がなかったら、一気に過疎化が進む。
- ・立石地区は傾斜地で不安があったが、工事によって安心できる。
- ・指定された区域内の住民が今後も生活を営むために重要な事業。
- ・人々の生活を守るために重要である。

問9-2 主な理由

- ・排水ポーリングの結果が芳しくない箇所がある。
- ・老朽化している施設、破損している箇所があります。
- ・立石地区の地形から今後も専門的な見地にたった幅広い対策が必要。

問10-2 主な意見

- ・地すべり委員会を設置し、年間計画のもと定期的を実施している。
- ・地域の要望によって工事を実施していただいた事であり、公費の活用等も考慮し完成後の管理は地域住民が取り組むことは当然のこと。
- ・高齢化で人数が少なくなりました。草を刈れる人が少ない。
- ・施設の地権者の方をお願いしたい。地権者が出来ないとすれば地域全体で考える必要がある。

問11-2 主な理由

- ・環境の変化というよりは、景観の変化は感じる。(良いほうに)
- ・工事規模が小さいこともあり、環境の変化はあまり感じない。
- ・景観面においてよくなっているが、今後の中で状況を見守りたい。
- ・水路等はコルゲート、U字溝だけでなく、環境に配慮した構造で施工してもらいたい。

問12-2 主な内容

- ・U字溝の下を水が流れている。
- ・排水路工の金具部分が草刈り作業の障害となることがある。
- ・水槽部分において、周囲の草木がつまり、水があふれ出て水路の破損原因となっている。施設のコマメな管理が必要。
- ・横孔ポーリングの排水の塩び管が外れたままになっており、周囲が軟弱になった箇所がある
- ・付近の法面にて湧水量等が変化しているので調査が必要であり、対策も考えるべき。

問14 公共事業全般についての意見

- ・アンケートをとって頂きありがとうございました。立石は自然豊かな上下水道完備された住み易いところです。若者も多く定住しています。今後共、この事業を継続させて頂きよろしくお願いたします。
- ・森林・河川が荒れてきている。環境保全の為にも積極関与をお願いいたします。
- ・地すべり対策事業を今後共引き続き実施してください。これからは関心を持って見守っていきたいと思います。
- ・公共事業を平等に公平に調査点検を行い、本当に危険度に応じた施工をお願いしたい。

施工前写真



施工後(現況)写真

土止工(8号)



排水路工(2号)



排水路工(10号)



横孔ボーリング工(48-1号)



平成 19 年度地すべり対策事業
立石地区地盤改良構造成果発表会
実施箇所 三穂
48-1号横孔ボーリング工
H16 L=240m